

西牧大使はオハングウェナ州へ出張し、令和 5 年 11 月 23 日に令和 3 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「オハングウェナ州エンジェラ地区オイピヤ小学校教室建設計画」（供与額 49,773 米ドル）の引渡式に出席してスピーチを行い、ニーポンドカ教育・芸術・文化大臣へ同校舎を引き渡しました。また、同 24 日には、同「オハングウェナ州オシカンゴ地区サヴォ・ナッツ私立学校教室建設計画」（供与額 61,308 米ドル）の引渡式に出席してスピーチを行い、ンデイトウンガ・オハングウェナ州知事に同校舎を引き渡しました。

オイピヤ小学校では、校舎 1 棟（3 教室、1 倉庫）の建設により、以前は仮設教室で授業を受けていた 5 年生から 7 年生の合計 108 名が、夏の暑さと冬の寒さの影響を受けずに、適切な環境で学習できるようになりました。また、サヴォ・ナッツ私立学校では校舎 1 棟（4 教室、4 倉庫兼教員執務室、男女トイレ）の建設により、以前は屋外で授業を受けていた合計 168 人の学習者が、屋外の厳しい気象条件の下ではなく、新しく建設された教室で学習できるようになりました。また、男女それぞれ専用のトイレ建設を行ったことにより、約 200 人の児童の衛生環境の改善が期待されています。

式典には、ニーポンドカ教育・芸術・文化大臣、ンデイトウンガ・オハングウェナ州知事、ハマトウィ・オハングウェナ州教育・芸術・文化局長の他、教育・学校関係者が参列し、児童による伝統的ダンスも加わり華やかなものになりました。

西牧大使はスピーチで「教育はナミビアの明るい未来の基盤となる」という日本政府による教育分野支援の目的と同支援状況について説明しました。ニーポンドカ教育・芸術・文化大臣は、ナミビア国の学校における教室不足の問題を取り上げ、教室建設に関する日本政府のこれまでの支援に対して謝意が表されました。



西牧大使によるスピーチ（オイピヤ小学校）



西牧大使によるスピーチ（サヴォ・ナッツ私立学校）



児童代表による舞踏の披露（オイピヤ小学校）



記念プレート除幕式（オイピヤ小学校）右から2人目の女性はニーポンドカ教育大臣



新しく建設された校舎のテープカット（サヴォ・ナッツ私立学校）右から３人目の男性は
オハングウェナ州知事



完成した校舎に描かれたナミビア・日本両国の国旗。日本からの支援である旨も添えられ
ている（オイピヤ小学校）



完成した校舎に描かれたナミビア・日本両国の国旗（サヴォ・ナッツ私立学校）



完成した校舎の視察（オイピヤ小学校）右から2人目の女性は教育大臣。他の女性は同学校の校長先生及び周辺の小学校の校長先生など。



完成した校舎の視察（サヴォ・ナッツ私立学校）



新しく建設された水洗トイレ（サヴォ・ナッツ私立学校）